

原料費調整(スライド)制度に基づく 2026年10月の都市ガス料金について

2026 年 9 月 1 日
若 松 ガ ス 株 式 会 社

若松ガス株式会社は、「原料費調整(スライド)制度」に基づき、2026年10月検針分の供給約款料金および選択約款料金に適用する単位料金を、2026年9月検針分に比べて 1m^3 につき 9.45 円(税抜)調整させていただきます。

今回の調整は、2026年5月～2026年7月の平均原料価格(101,980円/トン)に基づく調整です。
この調整により、標準家庭で1ヶ月につき 208 円(税込)ガス料金 を引き上げいたします。

2026年10月検針分に適用される調整単位料金については、検針時にお客様に配付する「ガスご使用量のお知らせ(ガス検針票)」などでも、あらかじめお知らせいたします。

なお、基準単位料金に比較しては、 1m^3 につき 6.52 円(税抜)調整されます。

1. 2026年10月検針分に適用される料金表

(1) 供給約款料金(税込)

料金表	1ヶ月のご使用量	基本料金 (1ヶ月およびガスメーター1個につき)	調整単位料金 (1m^3 につき) ^{※1}	現行の調整単位料金 2026年9月
A	0m^3 から 21m^3 まで	957.00 円	253.19 円	242.80 円
B	21m^3 を超え 158m^3 まで	1,743.50 円	215.74 円	205.34 円
C	158m^3 を超える場合	3,870.90 円	202.27 円	191.88 円

(各月のご使用量に応じてA～Cの各料金が適用されます。)

(2) 選択約款料金

供給約款料金と同様、調整単位料金は2026年9月検針分と比べ 1m^3 につき 9.45 円(税抜)の値上がりとなります。

※1 1m^3 あたり 14 円(税込)の政府支援を踏まえて値引きされています。

詳細は資源エネルギー庁「電気・ガス料金支援サイト」をご覧ください。

<https://denkigas-gekihenkanwa.go.jp/>

2. 標準家庭における影響額(税込)

単位:円/月

1ヶ月のご使用量	2026年10月(a)	2026年9月(b)	影響額(a-b)
標準家庭 ^{※2} 20m^3 /月($46\text{MJ}/\text{m}^3$)	6,020	5,812	208

※2 ご家庭1件あたりでの平均的な月間使用量(平成23年4月～平成28年3月末の5年間の平均月間使用量)です。

実際は、季節やご使用状況に応じて毎月変動いたします。

※3 ガス料金の計算は税抜単価から算出し、端数を切り捨てしておりますので、税込のガス料金に誤差が生じる場合がございます。

3. 平均原料価格

単位:円/トン

	2026年5月～2026年7月	2026年4月～2026年6月	基準平均原料価格
LNG平均輸入価格(貿易統計)	100,400	93,150	—
LPG(プロパン)平均輸入価格(貿易統計)	123,050	121,240	—
平均原料価格(LNG換算)	101,980	95,000	78,730

(平均原料価格=LNG平均輸入価格 $\times 0.9502$ ^{※4}+LPG平均輸入価格 $\times 0.0535$ ^{※5})

【10円未満四捨五入】

※4 原料のLNG構成比率

※5 原料のLPG(プロパン)構成比率に、LPG(プロパン)からLNGへの換算係数を加味したもの